

財務諸表等

平成28年度
(第13期事業年度)

自：平成28年 4月 1日
至：平成29年 3月31日

独立行政法人 国立病院機構

目 次

1. 貸借対照表	1
2. 損益計算書	3
3. キャッシュ・フロー計算書	7
4. 損失の処理に関する書類	9
5. 行政サービス実施コスト計算書	10
6. 注記事項	11
7. 附属明細書	20
(1) 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第91資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細	
(2) たな卸資産の明細	
(3) 有価証券の明細	
(4) 長期貸付金の明細	
(5) 長期借入金の明細	
(6) 引当金の明細	
(7) 貸付金等に対する貸倒引当金の明細	
(8) 退職給付引当金の明細	
(9) 資産除去債務の明細	
(10) 資本金及び資本剰余金の明細	
(11) 積立金の明細	
(12) 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細	
(13) 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細	
(14) 役員及び職員の給与の明細	
(15) 科学研究費補助金の明細	
(16) 開示すべきセグメント情報	
(17) 関連公益法人の状況	
(18) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	
8. 添付資料	
(1) 決算報告書	29
(2) 監事の意見	34
(3) 会計監査人の意見	35
(4) 施設別財務書類	別冊1
(5) 事業報告書	別冊2

財務諸表

貸借対照表
(平成29年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
資産の部		
I 流動資産		
現金及び預金		110,319,103,156
有価証券		9,000,000,000
医業未収金	156,902,074,002	
貸倒引当金	△ 477,249,287	
未収金		4,799,844,891
医薬品		4,020,791,221
診療材料		1,844,395,866
給食用材料		169,303,509
貯蔵品		562,764,867
前払費用		146,662,732
未収収益		85,540
その他流動資産		785,104,803
流動資産合計		288,072,881,300
II 固定資産		
1 有形固定資産		
建物	769,048,481,628	
減価償却累計額	△ 317,755,658,952	
減損損失累計額	△ 10,612,059,092	440,680,763,584
構築物	34,392,798,897	
減価償却累計額	△ 17,761,838,391	
減損損失累計額	△ 573,693,097	16,057,267,409
医療用器械備品	254,383,452,531	
減価償却累計額	△ 188,777,732,354	
減損損失累計額	△ 67,187,474	65,538,532,703
その他器械備品	53,500,389,260	
減価償却累計額	△ 34,203,820,724	
減損損失累計額	△ 18,594,835	19,277,973,701
車両	1,319,504,193	
減価償却累計額	△ 1,016,882,508	
減損損失累計額	△ 207,828	302,413,857
放射性同位元素	52,095,452	
減価償却累計額	△ 28,343,402	23,752,050
土地	469,936,354,756	
減損損失累計額	△ 1,431,293,078	468,505,061,678
建設仮勘定		6,696,509,605
その他有形固定資産		76,439,400
有形固定資産合計		1,017,158,713,987
2 無形固定資産		
特許権		40
ソフトウェア		17,500,733,191
電話加入権		197,236,186
その他無形固定資産		7,072,847
無形固定資産合計		17,705,042,264
3 投資その他の資産		
長期貸付金		2,509,607,758
破産更生債権等	1,874,629,429	
貸倒引当金	△ 1,874,629,429	0
長期前払費用		89,566,632
災害備蓄在庫		204,740,877
その他投資資産		20,183,500
投資その他の資産合計		2,824,098,767
固定資産合計		1,037,687,855,018
資産合計		1,325,760,736,318

科 目	金 額	
負債の部		
I 流動負債		
運営費交付金債務		5,885,636,139
預り補助金等		278,097,947
預り寄附金		849,340,873
一年以内返済長期借入金		47,821,906,546
買掛金		38,697,217,776
未払金		71,461,877,149
一年以内支払リース債務		1,427,319,206
未払費用		401,117,086
未払消費税等		458,397,400
預り金		3,686,707,631
前受収益		16,355,183
引当金		
賞与引当金	29,002,335,702	
損害補償損失引当金	1,042,736,046	30,045,071,748
一年以内履行資産除去債務		21,706,174
その他流動負債		374,350,685
流動負債合計		201,425,101,543
II 固定負債		
資産見返負債		
資産見返運営費交付金	622,056,357	
資産見返補助金等	19,722,026,215	
資産見返寄附金	1,644,140,079	
建設仮勘定見返施設費	1,310,000	
資産見返物品受贈額	11,387,227	22,000,919,878
長期借入金		407,137,273,248
長期未払金		572,278,254
引当金		
退職給付引当金		264,227,375,522
リース債務		1,924,515,885
資産除去債務		1,814,517,686
その他固定負債		379,890,768
固定負債合計		698,056,771,241
負債合計		899,481,872,784
純資産の部		
I 資本金		
政府出資金		203,445,413,115
資本金合計		203,445,413,115
II 資本剰余金		
資本剰余金		230,486,768,814
損益外減価償却累計額(－)		△ 4,511,936,308
損益外減損損失累計額(－)		△ 7,562,367
資本剰余金合計		225,967,270,139
III 繰越欠損金		
積立金		13,007,929,807
当期未処理損失		△ 16,141,749,527
(うち当期総損失)	(△ 16,141,749,527)
繰越欠損金合計		△ 3,133,819,720
純資産合計		426,278,863,534
負債純資産合計		1,325,760,736,318

損 益 計 算 書
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
経常収益		
I 診療業務収益		
医業収益		
入院診療収益	718,582,185,631	
室料差額収益	12,509,041,183	
外来診療収益	188,410,904,591	
保健予防活動収益	3,891,655,880	
その他医業収益	5,364,845,673	
保険等査定減(一)	△ 3,286,373,299	925,472,259,659
運営費交付金収益		
資産見返運営費交付金戻入	56,930,618	56,930,618
補助金等収益		
補助金等収益	2,296,790,210	
資産見返補助金等戻入	2,108,530,733	4,405,320,943
寄附金収益		
寄附金収益		195,291,280
資産見返物品受贈額戻入		1,073,035
その他診療業務収益		5,149,697,001
診療業務収益合計		935,280,572,536
II 教育研修業務収益		
看護師等養成所収益		4,246,072,952
研修収益		285,288,133
運営費交付金収益		
運営費交付金収益		153,706,830
補助金等収益		
補助金等収益	629,808,824	
資産見返補助金等戻入	13,521,458	643,330,282
寄附金収益		
寄附金収益		453,767
その他教育研修業務収益		36,696,017
教育研修業務収益合計		5,365,547,981
III 臨床研究業務収益		
研究収益		8,321,545,284
運営費交付金収益		
運営費交付金収益	2,969,255,101	
資産見返運営費交付金戻入	148,008,506	3,117,263,607
補助金等収益		
補助金等収益	139,086,468	
資産見返補助金等戻入	118,948,615	258,035,083
寄附金収益		
寄附金収益	393,664,580	
資産見返寄附金戻入	15,077,926	408,742,506
その他臨床研究業務収益		84,607,507
臨床研究業務収益合計		12,190,193,987
IV その他経常収益		
財務収益		
受取利息		1,053,472
土地建物等貸付料収入		1,088,932,944
宿舍貸付料収入		823,785,809
運営費交付金収益		
運営費交付金収益	10,192,592,951	
資産見返運営費交付金戻入	26,045,333	10,218,638,284
補助金等収益		
補助金等収益	155,447,209	
資産見返補助金等戻入	76,549	155,523,758
寄附金収益		
寄附金収益		10,000
その他経常収益		1,533,329,536
その他経常収益合計		13,821,273,803
経常収益合計		966,657,588,307

科 目	金 額		
経常費用			
I 診療業務費			
給与費			
給料	331,575,321,503		
賞与	55,785,950,566		
賞与引当金繰入額	24,730,050,645		
退職給付費用	65,532,534,059		
法定福利費	24,492,095,988	502,115,952,761	
材料費			
医薬品費	146,641,152,127		
診療材料費	78,538,038,521		
医療消耗器具備品費	4,097,885,594		
給食用材料費	11,166,861,998	240,443,938,240	
委託費			
検査委託費	6,072,533,802		
給食委託費	8,685,927,421		
寝具委託費	1,492,875,178		
医事委託費	10,376,890,794		
清掃委託費	3,725,079,600		
保守委託費	4,192,954,294		
その他の委託費	13,051,678,777	47,597,939,866	
設備関係費			
減価償却費	65,308,631,506		
修繕費	6,656,674,647		
器機賃借料	13,015,935,002		
地代家賃	471,199,883		
固定資産税等	294,967,958		
器機保守料	16,822,606,189		
器機設備保険料	118,670		
車両関係費	97,874,426		
P F I 費用	3,708,764	102,671,717,045	
研究研修費			
経費			
福利厚生費	365,049,237		
旅費交通費	1,845,517,970		
通信費	1,427,572,081		
消耗品費	6,670,322,736		
消耗器具備品費	2,689,297,260		
水道光熱費	17,163,350,614		
患者諸費	1,244,830,948		
租税公課	1,659,511,733		
医業貸倒損失	8,827,033		
貸倒引当金繰入額	253,852,304		
低価法評価損	9,144,039		
その他	3,583,034,962	36,920,310,917	
診療業務費合計			930,151,753,167
II 教育研修業務費			
看護師等養成所運営費			
給与費			
給料	3,047,564,437		
賞与	571,033,815		
賞与引当金繰入額	261,765,790		
退職給付費用	634,178,006		
法定福利費	218,161,814	4,732,703,862	
経費			
福利厚生費	1,962,724		
臨床実習協力費	75,470,868		
旅費交通費	84,287,593		
通信費	32,573,962		
消耗品費	134,297,663		
消耗器具備品費	137,639,933		

科 目	金 額	
生徒関連諸費	160,374,712	
水道光熱費	220,930,462	
減価償却費	1,001,376,327	
その他	433,679,733	2,282,593,977
研修活動費		
給与費		
給料	309,977,910	
賞与	32,248,248	
賞与引当金繰入額	8,813,505	
退職給付費用	17,054,966	
法定福利費	9,798,810	377,893,439
経費		
福利厚生費	226,390	
旅費交通費	301,598,137	
通信費	12,131,414	
消耗品費	23,768,132	
消耗器具備品費	15,695,314	
水道光熱費	62,064,924	
減価償却費	222,878,537	
その他	146,788,531	785,151,379
教育研修業務費合計		8,178,342,657
III 臨床研究業務費		
給与費		
給料	4,748,212,702	
賞与	794,888,452	
賞与引当金繰入額	353,871,461	
退職給付費用	626,515,617	
法定福利費	428,910,372	6,952,398,604
材料費		
医薬品費	686,768,955	
研究材料費	197,970,354	
研究用消耗器具備品費	179,551,258	1,064,290,567
経費		
福利厚生費	2,054,388	
旅費交通費	867,468,118	
通信費	107,206,586	
消耗品費	491,865,332	
消耗器具備品費	791,261,329	
水道光熱費	182,274,790	
委託費	1,703,887,084	
減価償却費	759,014,617	
その他	1,059,692,580	5,964,724,824
臨床研究業務費合計		13,981,413,995
IV 一般管理費		
給与費		
給料	1,575,694,784	
役員報酬	71,058,433	
賞与	339,372,204	
賞与引当金繰入額	147,855,675	
退職給付費用	10,184,617,861	
法定福利費	112,999,868	12,431,598,825
経費		
福利厚生費	6,648,467	
旅費交通費	116,429,055	
通信費	23,494,771	
消耗品費	52,924,687	
消耗器具備品費	6,451,017	
水道光熱費	23,209,023	
賃借料	22,315,497	

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額		
租税公課	48,347,721		
減価償却費	72,802,209		
その他	199,713,621	572,336,068	
一般管理費合計			13,003,934,893
V その他経常費用			
減価償却費		29,781,467	
財務費用			
支払利息	4,572,427,342		
支払手数料	335,144,160	4,907,571,502	
その他経常費用		3,248,130,937	
その他経常費用合計			8,185,483,906
経常費用合計			973,500,928,618
経常損失			△ 6,843,340,311
臨時利益			
固定資産売却益			45,652,033
その他臨時利益			249,906,515
			295,558,548
臨時損失			
固定資産売却損			9,834,402
固定資産除却損			1,331,721,235
固定資産減損損失			5,811,652,261
損害補償損失引当金繰入額			25,554,662
賠償金等負担額			406,218,514
その他臨時損失			2,008,986,690
			9,593,967,764
当期純損失			△ 16,141,749,527
当期総損失			△ 16,141,749,527

キャッシュ・フロー計算書
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
診療業務活動によるキャッシュ・フロー	
医業収入	926,616,726,893
補助金等収入	9,192,953,410
補助金等の精算による返還金の支出	△ 6,466,760
寄附金収入	89,313,173
その他の収入	5,668,202,935
人件費支出	△ 482,198,206,560
材料の購入による支出	△ 242,543,873,013
その他の業務支出	△ 119,530,614,048
小計	97,288,036,030
教育研修業務活動によるキャッシュ・フロー	
看護師等養成による収入	4,246,474,471
研修による収入	278,615,351
運営費交付金収入	153,706,830
補助金等収入	621,061,700
補助金等の精算による返還金の支出	△ 16,575,000
寄附金収入	10,000
その他の収入	36,501,777
人件費支出	△ 4,925,971,570
その他の業務支出	△ 1,751,595,296
小計	△ 1,357,771,737
臨床研究業務活動によるキャッシュ・フロー	
研究による収入	7,739,367,103
運営費交付金収入	3,050,542,000
補助金等収入	1,457,211,200
寄附金収入	306,653,052
その他の収入	123,696,416
人件費支出	△ 6,754,681,424
材料の購入による支出	△ 1,059,160,824
その他の業務支出	△ 5,865,443,789
小計	△ 1,001,816,266
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー	
運営費交付金収入	11,216,735,170
補助金等収入	72,462,175
補助金等の精算による返還金の支出	△ 125,000
寄附金収入	520,005
その他の収入	2,875,536,891
人件費支出	△ 31,156,419,714
その他の業務支出	△ 7,962,865,316
小計	△ 24,954,155,789
利息の受取額	1,030,595
利息の支払額	△ 4,703,052,860
業務活動によるキャッシュ・フロー	65,272,269,973
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の戻入による収入	14,900,000,000
定期預金の預入による支出	△ 6,000,000,000
有価証券の売却による収入	27,000,000,000
有価証券の取得による支出	△ 36,000,000,000
有形固定資産の売却による収入	2,984,773,516
有形固定資産の取得による支出	△ 62,128,952,680
無形固定資産の取得による支出	△ 9,251,692,745
施設費による収入	1,310,000

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額
資産除去債務の履行による支出	△ 25,828,429
貸付金の回収による収入	138,801,494
貸付金による支出	△ 1,024,130,000
その他の投資活動による収入	1,696,323,191
その他の投資活動による支出	△ 5,158,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 67,714,553,653
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	79,800,000,000
長期借入金の返済による支出	△ 43,384,570,546
不要財産に係る国庫納付等による支出	△ 443,884,000
リース債務償還による支出	△ 3,071,490,901
PFI債務償還による支出	△ 45,984,355
財務活動によるキャッシュ・フロー	32,854,070,198
Ⅳ 資金増加額	30,411,786,518
Ⅴ 資金期首残高	79,907,316,638
Ⅵ 資金期末残高	110,319,103,156

損失の処理に関する書類

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
I 当期末処理損失 当期総損失	△16,141,749,527	△16,141,749,527
II 損失処理額 積立金取崩額	13,007,929,807	13,007,929,807
III 次期繰越欠損金		△3,133,819,720

行政サービス実施コスト計算書
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
I 業務費用		
(1) 損益計算書上の費用		
診療業務費	930,151,753,167	
教育研修業務費	8,178,342,657	
臨床研究業務費	13,981,413,995	
一般管理費	13,003,934,893	
その他経常費用	8,185,483,906	
臨時損失	9,593,967,764	983,094,896,382
(2) (控除) 自己収入等		
診療業務収益	△930,817,247,940	
教育研修業務収益	△4,568,510,869	
臨床研究業務収益	△8,645,925,297	
その他経常収益	△3,447,111,761	
臨時利益	△295,558,548	△947,774,354,415
業務費用合計		35,320,541,967
II 損益外減価償却相当額		464,058,016
III 損益外除売却差額相当額		△ 431,473,777
IV 機会費用		
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	7,295,135	
政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用	279,273,522	286,568,657
V 行政サービス実施コスト		35,639,694,863

注 記 事 項

I. 重要な会計方針

1. 運営費交付金収益の計上基準

業務達成基準を採用しております。

(会計方針の変更)

運営費交付金収益の計上基準については、前事業年度まで改訂前の「独立行政法人会計基準」第81（注解60）に基づく業務達成基準を採用しておりましたが、独立行政法人会計基準等の改訂に伴い、当事業年度より、改訂後の第81（注解60、注解61）に基づく業務達成基準を採用しております。

これによる財務諸表への影響はありません。

2. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建 物	2	～	47年
構築物	2	～	68年
医療用器械備品	2	～	20年
その他器械備品	2	～	20年
車 両	2	～	6年
放射性同位元素	2	～	23年

また、特定の償却資産（独立行政法人会計基準第87）の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として資本剰余金から控除して表示しております。

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、法人内利用ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5年）に基づいております。

(3) リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法によっております。

3. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

(退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準並びに退職給付費用の処理方法)

役職員の退職給付に備えるため、役員については独立行政法人国立病院機構役員退職手当規程に基づく期末要支給額を、また、職員については当該事業年度末における退職給付債務及び恩給制度期間を有する退職職員の負担金である整理資源に関する債務の見込額に基づき計上しております。

ただし、独立行政法人化前に発生した役職員の退職給付のうち、運営費交付金により財源措置がなされる額については、退職給付に係る引当金は計上しておりません。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。

過去勤務費用は、その発生時の職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(9～10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

4. 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

5. 賞与引当金の計上基準

役員に対して支給する業績年俸及び職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

6. 損害補償損失引当金の計上基準

医療賠償等による損害賠償金の支払に備えるため、個別に発生可能性を検討し、その経過等の状況に基づき損失負担見込額を計上しております。

7. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1) 医薬品

最終仕入原価法に基づく低価法

(2) 診療材料

最終仕入原価法に基づく低価法

(3) 給食用材料

最終仕入原価法に基づく低価法

(4) 貯蔵品

金券類は個別法、その他は最終仕入原価法に基づく低価法

8. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

(1) 国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃貸料等を参考に計算しております。

(2) 政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成29年3月末利回りを参考に0.065%で計算しております。

9. リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

10. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

11. 固定資産の減損の処理方法

固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成14年8月9日））および「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第6号 最終改正 平成21年3月27日）を適用しております。

また、独立行政法人国立病院機構の業務運営並びに財務及び会計に関する省令（平成16年厚生労働省令第77号）により、減価に対応すべき収益の獲得が予定されていないと認められる償却資産については、固定資産減損損失は計上せず、資産の減損額と同額を資本剰余金に対する控除として計上しております。

II. 貸借対照表

1. 運営費交付金から充当されるべき退職一時金に係る退職給付引当金の見積額

62,526,536,535円

2. 運営費交付金から充当されるべき退職共済年金に係る恩給負担金の見積額

136,436,000円

3. 金融商品関係

(1) 金融商品の状況に関する事項

当機構は、資金運用については預金及び公債に限定し、また、資金調達については財政融資資金からの借入及び財投機関債の発行によっております。

診療報酬債権に係る回収リスクは、収入管理事務要領等に沿ってリスク低減を図っております。また、投資有価証券は、独立行政法人通則法第47条の規定等に基づき、公債のみを保有することとし株式等は保有しておりません。

借入金等の使途は事業投資資金であり、主務大臣により認可された資金計画に沿って、資金調達を行っております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区 分	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
(1)現金及び預金	110,319	110,319	—
(2)有価証券	9,000	9,000	—
譲渡性預金	9,000	9,000	—
(3)医業未収金	156,902	156,902	—
(4)買掛金	(38,697)	(38,697)	—
(5)未払金	(71,461)	(71,461)	—
(6)長期借入金	(454,959)	(467,817)	(12,858)
(7)リース債務	(3,351)	(3,351)	(0)

(注1) 負債に計上されているものは () で示しております。

(注2) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項

(1) 現金及び預金、(3) 医業未収金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券

譲渡性預金については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、帳簿価額によっております。

(4) 買掛金、(5) 未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、帳簿価額によっております。

(6) 長期借入金、(7) リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

なお、リース債務の貸借対照表計上額は利子を含んでおります。

Ⅲ. 損益計算書

1. 国又は地方公共団体からの受託による収益の科目別内訳

① その他診療業務収益	440,688,552円
② 研修収益	217,559,075円
③ 研究収益	31,619,307円
合 計	689,866,934円

2. 受取利息の内訳

① 受取利息	508,542円
② 有価証券利息	544,930円
合 計	1,053,472円

3. 固定資産売却益の内訳

① 建 物	1,716,599円
② 医療用器械備品	40,037,794円
③ 車 両	3,897,640円
合 計	45,652,033円

4. 固定資産売却損の内訳

① 建 物	209円
② 構築物	40円
③ 医療用器械備品	8,897,167円
④ その他器械備品	922,554円
⑤ 車両	14,432円
合 計	9,834,402円

5. 固定資産減損損失

(1) 減損損失の金額及び内訳

(単位：円)

用 途	場 所	減 損 損 失		
		建 物	そ の 他	計
遊休資産 (外来棟等)	嬉野市嬉野町大字下 宿丙2436 外32箇所	4,342,678,256	1,468,974,005	5,811,652,261

(2) 減損損失の認識に至った経緯

上記遊休資産については、将来の使用が見込まれておらず、回収可能価額が帳簿価額を下回っているため減損損失を認識しました。

(3) 資産のグルーピングの方法

当機構は、機構全体が一体となって政策医療を担っていることから、全体で一つの資産グループとしております。ただし、将来の使用が見込まれていない遊休資産及び事業の大幅な縮小や廃止に関する意思決定済みの資産については、それぞれ個別にグルーピングしております。

(4) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、主として不動産鑑定評価額に基づく正味売却価額により算定しております。

6. その他臨時損失の内訳

① 過年度の資産除去債務費用（アスベスト除去費用）	1,131,122,565円
② 災害損失費用(熊本地震等関係経費)	354,034,954円
③ その他	523,829,171円
合計	<u>2,008,986,690円</u>

IV. キャッシュ・フロー計算書

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	110,319,103,156円
資金期末残高	110,319,103,156円

2. 重要な非資金取引

ファイナンス・リースによる資産の取得	13,164,768円
--------------------	-------------

V. 退職給付引当金

1. 採用している退職給付制度の概要

当機構は役職員の退職給付に充てるため、退職一時金制度を設けております。

2. 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	平成29年3月31日現在
期首における退職給付債務 (A)	172,355,743,460 円
勤務費用 (B)	19,702,591,618 円
利息費用 (C)	1,225,109,178 円
数理計算上の差異の当期発生額 (D)	△1,358,560,105 円
退職給付の支払額 (E)	△10,088,604,858 円
期末における退職給付債務 (F)=(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	<u>181,836,279,293 円</u>

3. 退職給付債務と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	平成29年3月31日現在
退職給付債務 (A)	181,836,279,293 円
未認識過去勤務費用 (注) (B)	9,620,517,347 円
未認識数理計算上の差異 (C)	△7,247,789,470 円
整理資源負担金 (D)	80,018,368,352 円
退職給付引当金 (E)=(A)+(B)+(C)+(D)	<u>264,227,375,522 円</u>

(注) 平成25年1月1日から国家公務員退職手当法等の一部を改正する法律(平成24年法律第96号)及び平成27年4月1日から独立行政法人国立病院機構職員退職手当規程の適用を受けたため、過去勤務費用が発生しております。

4. 退職給付に関連する損益

	平成29年3月31日現在
勤務費用	19,702,591,618 円
利息費用	1,225,109,178 円
過去勤務費用の当期の費用処理額	△1,680,527,856 円
数理計算上の差異の当期の費用処理額	751,850,077 円
運営費交付金で財源措置された費用	9,718,271,067 円
退職給付費用	<u>29,717,294,084 円</u>

(注) 上記退職給付費用には他法人へ出向している職員に係る分として、26,394,377円が含まれております。

(注) 上記退職給付費用以外に共済組合負担金、長期公経済負担金等の退職給付費用として、47,304,000,802円を計上しております。

5. 数理計算上の計算の基礎に関する事項

割引率 0.5%

VI. 資産除去債務関係

1. 資産除去債務の概要

当機構は労働安全衛生法等の規定により生ずる債務として、所有する建物の解体時におけるアスベストの除去費用、医療用器械備品等の廃棄時における放射性同位元素及び放射化物の除去費用、及び照明装置の廃棄時におけるポリ塩化ビフェニルの除去費用につき資産除去債務を計上しております。

2. 資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積もりにあたり、取得時からの使用見込期間を有形固定資産の耐用年数を参考に2年から41年と見積もっております。割引率は当該期間を勘案し、使用見込期間に見合う財政投融资及び国債の利回りを参考に算定しており、0.100%から2.342%となっております。

3. 当事業年度における資産除去債務の総額の増減

期首残高	427,764,077 円
有形固定資産の取得等に伴う増加額	1,390,909,644 円
時の経過による調整額	18,528,739 円
資産の除去等による履行額	△978,600 円
期末残高	1,836,223,860 円

VII. 不要財産に係る国庫納付関係

①	資産の種類	土地・建物等	
②	資産名称	旧南横浜病院	
③	帳簿価格	(1)取得価格	3,317,009,238円
		(2)減価償却累計額及び減損損失累計額	3,317,008,992円
		(3)帳簿価格	246円
④	不要財産となった理由	後利用計画はないことから、将来にわたり業務を確実に実施する上で必要ではないと判断したため。	
⑤	国庫納付等の方法	金銭納付	
⑥	譲渡収入の額	450,000,000円	
⑦	控除費用	6,116,000円	
⑧	国庫納付等の額	(1)国庫納付額	443,884,000円
	納付等年月日	(2)納付年月日	平成29年2月9日
⑨	減資額	2,992,485,374円	
⑩	備考		

VIII. オペレーティング・リース取引

1. 貸借対照表日後一年以内のリース期間に係る未経過リース料 32,978,994円
2. 貸借対照表日後一年を超えるリース期間に係る未経過リース料 27,051,837円

IX. 重要な債務負担行為
該当事項はありません。

X. 重要な後発事象
該当事項はありません。

XI. その他独立行政法人の状況を適切に開示するために必要な会計情報
該当事項はありません。

財 務 諸 表
(附 屬 明 細 書)

1. 固定資産の取得、処分、減価償却費(「第87 特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第91 資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)及び減損損失累計額の明細

(単位:円)

資産の種類	期首 残高	当期 増加額	当期 減少額	期末 残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引当期 末残高	摘要
					当期償却額	期末償却額	当期減損額	期末減損額		
有形固定資産(償却費損益外)										
建物	726,406,205,041	36,760,173,652	4,115,410,721	759,050,967,972	313,906,003,363	10,605,607,502	4,342,678,256	434,539,357,107		
構築物	32,052,634,118	1,404,583,869	44,130,854	33,413,087,133	17,099,557,672	572,582,320	318,316,701	15,740,947,141		
医療用器械備品	243,976,910,205	19,306,042,414	8,899,500,088	254,383,452,531	188,777,732,354	67,187,474	1,134,576	65,538,532,703		
その他器械備品	54,075,837,855	5,463,269,111	6,038,717,706	53,500,389,260	34,203,820,724	18,594,835	1,522,751	19,277,973,701		
車両	1,270,485,811	83,169,879	34,151,497	1,319,504,193	1,016,882,508	207,828	0	302,413,857		
放射線同位元素	52,095,452	0	0	52,095,452	28,343,402	0	0	23,752,050		
計	1,057,834,168,482	63,017,238,925	19,131,910,866	1,101,719,496,541	555,032,340,023	11,264,179,959	4,663,652,284	535,422,976,559		
有形固定資産(償却費損益外)	9,997,513,656	0	0	9,997,513,656	3,849,655,589	6,451,590	0	6,141,406,477		
建物	979,711,764	0	0	979,711,764	662,280,719	1,110,777	0	316,320,268		
構築物	10,977,225,420	0	0	10,977,225,420	4,511,936,308	7,562,367	0	6,457,726,745		
土地	474,024,736,842	2,622,099,476	6,710,481,562	469,936,354,756	—	—	—	468,505,061,678		
建設仮勘定	10,754,290,028	13,695,611,739	17,753,392,162	6,696,509,605	—	—	—	6,696,509,605		
その他有形固定資産	67,955,000	8,484,400	0	76,439,400	—	0	0	76,439,400		
計	484,846,981,870	16,326,195,615	24,463,873,724	476,709,303,761	—	—	—	475,278,010,683		
建物	736,403,718,697	36,760,173,652	4,115,410,721	769,048,481,628	317,755,658,952	10,612,059,092	4,342,678,256	440,680,763,584		
構築物	33,032,345,882	1,404,583,869	44,130,854	34,392,798,897	17,761,838,391	573,693,097	318,316,701	16,057,267,409		
医療用器械備品	243,976,910,205	19,306,042,414	8,899,500,088	254,383,452,531	188,777,732,354	67,187,474	1,134,576	65,538,532,703		
その他器械備品	54,075,837,855	5,463,269,111	6,038,717,706	53,500,389,260	34,203,820,724	18,594,835	1,522,751	19,277,973,701		
車両	1,270,485,811	83,169,879	34,151,497	1,319,504,193	1,016,882,508	207,828	0	302,413,857		
放射線同位元素	52,095,452	0	0	52,095,452	28,343,402	0	0	23,752,050		
計	474,024,736,842	2,622,099,476	6,710,481,562	469,936,354,756	—	—	—	468,505,061,678		
土地	10,754,290,028	13,695,611,739	17,753,392,162	6,696,509,605	—	—	—	6,696,509,605		
建設仮勘定	67,955,000	8,484,400	0	76,439,400	—	0	0	76,439,400		
その他有形固定資産	1,553,658,375,772	79,343,434,540	43,595,784,590	1,589,406,025,722	559,544,276,331	12,703,035,404	5,810,937,434	1,017,158,713,987		
計	31	9	0	40	—	0	0	40		
特許権	38,719,100,135	6,342,626,558	6,844,421,318	38,217,305,375	20,716,289,351	282,833	282,833	17,500,733,191		
ソフトフェア	203,252,120	0	1,264,000	201,988,120	—	4,751,934	431,994	197,236,186		
電話加入権	7,417,409	1,316,034	0	8,733,443	1,660,596	522,605	0	7,072,847		
その他無形固定資産	38,929,769,695	6,343,942,601	6,845,685,318	38,428,026,978	20,717,949,947	5,034,767	714,827	17,705,042,264		
計	2,377,621,283	1,024,130,000	892,143,525	2,509,607,758	—	—	—	2,509,607,758		
長期貸付金	1,912,528,090	466,702,125	504,600,786	1,874,629,429	—	—	—	1,874,629,429		
破産更生債権等	△ 1,912,528,090	△ 242,323,854	△ 280,222,515	△ 1,874,629,429	—	—	—	△ 1,874,629,429		
貸倒引当金	73,468,715	70,942,255	54,844,368	89,566,632	—	—	—	89,566,632		
長期前払費用	171,127,165	60,126,384	26,512,672	204,740,877	—	—	—	204,740,877		
災害備蓄在庫	19,734,500	5,569,000	5,120,000	20,183,500	—	—	—	20,183,500		
その他投資資産	2,641,951,663	1,385,145,940	1,202,998,836	2,824,098,767	—	—	—	2,824,098,767		
計										

2. たな卸資産の明細 (単位:円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・製造・振替	私出・振替	其他	其他		
医薬品	3,979,453,521	147,371,703,824	147,327,921,082	2,445,042	4,020,791,221	注	
診療材料	1,762,706,108	78,824,397,630	78,736,008,875	6,698,997	1,844,395,866	注	
給食用材料	160,128,248	11,176,037,259	11,166,861,998	0	169,303,509		
貯蔵品	504,225,517	17,209,586,649	17,151,047,299	0	562,764,867		
計	6,406,513,394	254,581,725,362	254,381,839,254	9,144,039	6,597,255,463		

(注) 当期減少額のうち、低価法による評価損によるものです。

3. 有価証券の明細 (単位:円)

種類	取得価額	券面総額	当期費用に含まれた評価差額		摘要
			貸借対照表計上額	評価差額	
譲渡性預金	9,000,000,000	9,000,000,000	9,000,000,000	0	
貸借対照表計上額 合計			9,000,000,000		

4. 長期貸付金の明細 (単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			回収額	償却額		
奨学金貸与	2,421,699,584	1,024,130,000	138,801,494	730,582,898	2,576,445,192	注
計	2,421,699,584	1,024,130,000	138,801,494	730,582,898	2,576,445,192	

(注) 1. 当期減少額のうち「償却額」は独立行政法人国立病院機構奨学金貸与規程第11条による返還免除額です。
2. 一年以内回収長期貸付金(期末残高66,837,434円)を含めております。

5. 長期借入金の明細 (単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	平均利率(%)	返済期限	摘要
計	418,543,750,340	79,800,000,000	43,384,570,546	454,959,179,794			

6. 引当金の明細 (単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
			目的使用	其他		
賞与引当金	28,392,642,040	29,002,335,702	28,392,642,040	0	29,002,335,702	
損害補償損失引当金	1,174,438,630	25,554,662	157,257,246	0	1,042,736,046	
計	29,567,080,670	29,027,890,364	28,549,899,286	0	30,045,071,748	

7. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細 (単位:円)

区分	期首残高	当期増減額	貸付金等の残高		貸倒引当金の残高	摘要
			期末残高	期首残高		
医薬未収金	158,279,193,513	△ 1,377,119,511	156,902,074,002	478,058,217	△ 808,930	477,249,287
一般債権	158,279,193,513	△ 1,377,119,511	156,902,074,002	478,058,217	△ 808,930	477,249,287 注1
未収金	8,824,235,860	△ 4,024,390,969	4,799,844,891	0	0	0
一般債権	8,824,235,860	△ 4,024,390,969	4,799,844,891	0	0	0
破産更生債権等	1,912,528,090	△ 37,898,661	1,874,629,429	1,912,528,090	△ 37,898,661	1,874,629,429
破産更生債権等	1,912,528,090	△ 37,898,661	1,874,629,429	1,912,528,090	△ 37,898,661	1,874,629,429 注2
計	169,015,957,463	△ 5,439,409,141	163,576,548,322	2,390,586,307	△ 38,707,591	2,351,878,716

(注) 1. 一般債権については、貸倒実績率により、回収不能見込額を計上しております。
2. 破産更生債権等(発生から1年以上経過した医薬未収金及び未収金)については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

8. 退職給付引当金の明細

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職給付債務合計額	261,951,644,812	19,569,140,691	19,666,137,858	261,854,647,645	
退職一時金に係る債務	172,355,743,460	19,569,140,691	10,088,604,858	181,836,279,293	
整理資産負担金に係る債務	89,595,901,352	0	9,577,533,000	80,018,368,352	
未認識過去勤務費用及び未認識数理計算上の差異	1,942,845,551	1,358,560,105	928,677,779	2,372,727,877	
年金資産	-	-	-	-	
退職給付引当金	263,894,490,363	20,927,700,796	20,594,815,637	264,227,375,522	

9. 資産除去債務の明細

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
労働安全衛生法等に基づく債務	169,913,100	1,403,286,457	0	1,573,199,557	注
特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律等に基づく債務	243,504,092	6,151,926	978,600	248,677,418	注
PCB特別措置法等に基づく債務	0	14,346,885	0	14,346,885	注
計	427,764,077	1,409,438,383	978,600	1,836,223,860	

(注)資産除去債務に対応する除去費用等については、独立行政法人会計基準第910の特定はされておりません。

10. 資本金及び資本剰余金の明細

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	206,437,898,489	0	2,992,485,374	203,445,413,115	注1
計	206,437,898,489	0	2,992,485,374	203,445,413,115	
資本剰余金	36,179,173,837	0	0	36,179,173,837	
施設費	13,313,455,914	0	0	13,313,455,914	
補助金等	84,319,126,612	0	0	84,319,126,612	
目的積立金	2,294,160,048	2,548,601,374	0	4,842,761,422	注2
減資差益	△ 3,353,078,630	512,930,070	81,456,293	△ 2,921,604,853	注3
損益外除売却差額相当額	94,753,855,882	0	0	94,753,855,882	
その他	227,506,693,663	3,061,531,444	81,456,293	230,486,768,814	
計	4,047,878,292	464,058,016	0	4,511,936,308	
損益外減価償却累計額	7,562,367	0	0	7,562,367	
損益外減損損失累計額	223,451,253,004	2,597,473,428	81,456,293	225,967,270,139	
差引計					

(注)1. 当期減少額は、独立行政法人通則法第46条の2第4項の規定に従い国庫納付したことによるものです。

2. 当期増加額は、独立行政法人通則法第46条の2第4項の規定に従い国庫納付したことによるものです。

3. 当期増加額及び当期減少額の主なものは、国から承継した資産(土地)の売却によるものです。

11. 積立金の明細

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
通則法第44条第1項の積立金	11,711,358,079	1,296,571,728	0	13,007,929,807	注
計	11,711,358,079	1,296,571,728	0	13,007,929,807	

(注)当期増加額は、前期末処分利益からの積立てにより増加したものです。

12. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

期首残高	交付金 当期交付額	当期振替額		期末残高
		運営費交付金収益	資産見返 運営費交付金	
4,978,382,628	14,420,984,000	13,315,554,882	198,175,607	5,885,636,139
		0	13,513,730,489	

(2) 運営費交付金債務の当期振替額及び主な用途の明細

区分	運営費交付金収益	運営費交付金の主な用途	
		費用	主な用途
業務達成基準による振替額			
教育研修事業	153,706,830	153,706,830	人件費:134,334,730円、消耗品費:8,066,547円、その他:11,305,553円
臨床研究事業	2,969,255,101	2,969,255,101	人件費:457,864,861円、消耗品費:507,364,053円、その他:2,004,026,187円
その他事業	10,192,592,951	10,192,592,951	退職給付費用:9,718,271,067円、その他:474,321,884円
期間進行基準による振替額	-	-	(期間進行基準を採用した業務は無い)
費用進行基準による振替額	-	-	(費用進行基準を採用した業務は無い)
合計	13,315,554,882	13,315,554,882	

(2) 資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な用途の明細

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な用途	振替額	主な用途
教育研修事業	0		0	
臨床研究事業	81,286,899	その他器械備品:78,699,404円、ソフトウエア:2,587,495円	0	
その他事業	116,888,708	その他器械備品:113,723,838円、車両:3,164,870円	0	
合計	198,175,607		0	

(3) 運営費交付金債務残高の明細

運営費交付金債務残高	使用見込み
業務達成基準を採用した業務に係る分	2,879,720,581 翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高と使用見込みは以下のとおりです。 その他事業の国期間に係る退職手当については、計画に対し退職者が少なかったため、翌事業年度に2,856,310,933円収益化予定。 その他事業の医療廃棄物等処理については、事前調査に時間を要したため、翌事業年度に23,409,648円収益化予定。
期間進行基準を採用した業務に係る分	- (期間進行基準を採用した業務は無い)
費用進行基準を採用した業務に係る分	- (費用進行基準を採用した業務は無い)
その他	3,005,915,558 収益化単位の業務に配分を行わなかった運営費交付金については、翌事業年度以降の予期せぬ退職事由の発生及び医療廃棄物等処理の際に収益化予定。
計	5,885,636,139

13. 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

(1) 施設費の明細

区分	当交付額	左の会計処理内訳			摘要
		建設仮勘定 見返補助金等	資本剰余金	その他	
心障害失業者等医療観察法指定入院医療機関施設整備費負担金	1,310,000	1,310,000	0	0	
計	1,310,000	1,310,000	0	0	

(単位:円)

(2) 補助金等の明細

区分	当交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	収益計上	
心障害失業者等医療観察法指定入院医療機関運営費負担金	130,003,101	0	9,082,800	0	120,920,301	
心障害失業者等医療観察法指定入院医療機関医療評価・向上事業費補助金	1,125,000	0	0	0	1,125,000	
疾病予防対策事業費等補助金(感染症対策特別促進事業費)	24,148,000	0	0	0	24,148,000	
疾病予防対策事業費等補助金(がん診療連携拠点病院機能強化事業費)	560,717,000	0	0	0	560,717,000	
疾病予防対策事業費等補助金(がんのゲノム医療・集学的治療推進事業)	10,474,000	0	0	0	10,474,000	
医療施設等設備整備費補助金	1,479,000	0	1,479,000	0	0	
保健衛生施設等設備整備費補助金	6,495,000	0	6,320,883	0	174,117	
医療関係者研修等補助金(災害医療コーディネーター研修事業)	10,340,000	0	0	0	10,340,000	
自衛不遂者企業防犯事業費等補助金	2,162,000	0	0	0	2,162,000	
臨床研究品質確保体制整備事業補助金	181,315,440	0	42,228,972	0	139,086,468	
電子カルテデータ標準化等のためのIT基礎構築事業補助金	7,221,600	0	7,221,600	0	0	
企業主導型保育事業助成金	34,913,860	0	28,864,971	0	6,048,889	
[北海道外46都府県]新人看護職員研修事業補助金	126,480,000	0	0	0	126,480,000	
[北海道外25府県]看護職員養成施設運営支援事業補助金	484,229,000	0	3,013,200	0	481,215,800	
[北海道外13府県]防災訓練等参加事業費補助金	1,861,000	0	0	0	1,861,000	
[北海道外7府県]医療施設運営費等補助金	39,792,498	0	32,520,305	0	7,272,193	
[北海道外4都府県]救急勤務医支援対策事業補助金	17,708,000	0	0	0	17,708,000	
[青森県外22府県]産科医療確保支援事業費補助金	49,988,000	0	0	0	49,988,000	
[宮城県外5府県]勤務環境改善支援事業補助金	7,875,000	0	0	0	7,875,000	
[宮城県外19府県]地域医療介護総合確保事業補助金	229,354,820	0	41,239,000	0	188,115,820	
[宮城県外4府県]災害拠点病院施設整備費補助金	39,377,000	0	38,149,855	0	1,227,145	
[宮城県外4府県]受入困難患者受入医療機関支援事業補助金	11,002,000	0	0	0	11,002,000	
[宮城県外2府県]救急患者退院コーディネート事業補助金	4,564,000	0	0	0	4,564,000	
[宮城県外1府県]外国人看護師候補者就労支援事業補助金	1,273,000	0	0	0	1,273,000	
[宮城県外1府県]地域医療復興事業補助金	27,495,000	0	26,947,275	0	547,725	
[宮城県]ドクターヘリ救急搬送体制整備事業費補助金	615,817,000	0	458,938,769	0	156,878,231	
[山形県外16府県]保育所運営費補助金	114,188,000	0	0	0	114,188,000	
[山形県外1府県]結核予防費補助金	41,804	0	0	0	41,804	
[山形県]看護師等キャリアアップ支援事業補助金	3,766,000	0	0	0	3,766,000	
[福島県外3府県]社会福祉施設等施設整備費補助金	7,057,000	0	5,441,199	0	1,615,801	
[栃木県外8府県]新型インフルエンザ患者入院医療機関設備整備事業費補助金	9,273,213	0	4,442,000	0	4,831,213	
[栃木県外6府県]感染症指定医療機関運営費等補助金	56,058,354	0	0	0	56,058,354	
[栃木県外3府県]学生に対する職業体験等事業費補助金	846,000	0	0	0	846,000	
[群馬県外7府県]地域医療再生基金事業費補助金	1,037,037,260	0	1,008,088,731	0	28,948,529	
[群馬県外3府県]医療機能分化・連携推進事業費補助金	32,077,000	0	24,861,981	0	7,215,019	
[群馬県外3府県]医療施設耐震化臨時特例基金事業費補助金	1,126,959,000	0	1,126,959,000	0	0	
[群馬県]へき地医療拠点病院運営費補助金	5,732,000	0	0	0	5,732,000	
[茨城県外14都府県]医療施設等設備整備費補助金	279,505,397	0	251,051,948	0	28,453,449	
[茨城県外10府県]がん診療施設整備事業補助金	113,059,200	0	73,003,000	0	40,056,200	
[茨城県外5府県]重症心身障害児(者)受入体制強化事業費補助金	69,571,585	0	49,762,872	0	19,808,713	
[茨城県外1府県]診療連携コーディネート事業費補助金	10,450,000	0	0	0	10,450,000	
[埼玉県外9府県]小児・周産期医療施設運営費補助金	131,071,000	0	123,965,000	0	7,106,000	
[埼玉県外9府県]保健衛生施設等施設整備費補助金	206,296,690	0	191,313,225	0	14,983,465	
[埼玉県外5府県]女性医師等就労支援事業費補助金	16,786,000	0	0	0	16,786,000	
[埼玉県外1府県]DMATT活動費補助金	650,849	0	0	0	650,849	

(単位:円)

(単位:円)

区分	当交付額	左の会計処理内訳			摘要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	
[埼玉県]総合医局機構指導医等確保事業補助金	2,500,000	0	0	0	2,500,000
[埼玉県]後方支援医療機関支援事業補助金	230,000	0	0	0	230,000
[千葉県]在宅移行児童一時支援事業補助金	1,765,000	0	0	0	1,765,000
[神奈川県]熊本地震に係る災害救済費	3,717,991	0	0	0	3,717,991
[神奈川県]東日本大震災被災私立学校生徒学費軽減事業補助金	7,123,000	0	0	0	7,123,000
[神奈川県]東日本大震災被災私立学校生徒学費軽減事業補助金	821,520	0	0	0	821,520
[山梨県]小児救急医療支援事業補助金	169,469,000	0	72,601,200	0	96,867,800
[長野県]自給自足緊急強化事業補助金	1,211,728	0	0	0	1,211,728
[新潟県]原子力災害対策施設整備費補助金	50,000	0	0	0	50,000
[新潟県]認知症疾患医療センター運営事業費補助金	266,091,173	0	258,356,566	0	7,734,607
[富山県]同産期医療施設運営費補助金(日中一時支援事業)	37,476,000	0	20,835,592	0	16,640,408
[岐阜県]障害児(者)施設等入所者支援事業費補助金	17,179,000	0	0	0	17,179,000
[岐阜県]障害児(者)施設等入所者支援事業費補助金	5,432,953	0	0	0	5,432,953
[石川県]看護学生実習病院確保事業補助金	4,072,000	0	0	0	4,072,000
[三重県]救急救命士病院実習受入促進事業補助金	2,337,000	0	0	0	2,337,000
[三重県]診療情報共有事業補助金	129,400	0	0	0	129,400
[滋賀県]臨床研修医確保対策強化助成金	400,000	0	0	0	400,000
[滋賀県]臨床研修医確保整備費補助金(小児医療施設設備事業)	49,961,000	0	49,961,000	0	0
[京都府]在宅療養おんしん病院支援事業補助金	583,500	0	0	0	583,500
[大阪府]在宅療養おんしん病院支援事業補助金	26,892,000	0	23,100,000	0	3,792,000
[大阪府]救急搬送患者受入促進事業費補助金	8,531,000	0	0	0	8,531,000
[兵庫県]医療提供体制施設整備補助金	2,899,000	0	2,899,000	0	0
[兵庫県]退院調整推進事業補助金	230,000	0	0	0	230,000
[和歌山県]救命救急センター運営事業補助金	155,841,000	0	0	0	155,841,000
[和歌山県]看護師倍付施設整備事業補助金	22,807,000	0	22,807,000	0	0
[鳥取県]小児救急勤務医支援事業費補助金	3,642,000	0	0	0	3,642,000
[広島県]在宅心身障害児(者)福祉対策費補助金	4,000	0	0	0	4,000
[愛媛県]医科歯科連携歯科衛生士配置事業補助金	2,040,000	0	0	0	2,040,000
[熊本県]国宝重要文化財等保存整備費補助金	54,054,000	0	0	0	54,054,000
[札幌市]国重要文化財等保存整備費補助金	60,359	0	0	0	60,359
[札幌市]国重要文化財等保存整備費補助金	49,683,360	0	921,937	0	48,761,423
[旭川市]13市]保育所運営費補助金	169,687,985	0	972,000	0	168,715,985
[旭川市]21市]病院診療補助金	3,620,000	0	0	0	3,620,000
[仙台市]認知症疾患医療センター運営事業費補助金	4,017,000	0	0	0	4,017,000
[仙台市]認知症疾患医療センター運営事業費補助金	1,000,000	0	0	0	1,000,000
[札幌市]地震対策緊急促進事業補助金	73,398,952	0	0	0	73,398,952
[宇都宮市]10市]救急医療体制運営費補助金	136,624,253	0	0	0	136,624,253
[宇都宮市]9市]小児・周産期救急医療施設運営費補助金	37,147,000	0	0	0	37,147,000
[千葉市]6市]医師確保補助金	28,386,257	0	0	0	28,386,257
[横浜市]2市]救急医療第2次病院補助金	5,000,000	0	0	0	5,000,000
[横浜市]地域医療連携システム補助金	783,000	0	0	0	783,000
[横浜市]専門看護師等資格取得助成事業補助金	10,328,000	0	0	0	10,328,000
[横浜市]乳幼児健康支援マイナビ(育児保育)事業補助金	139,100	0	0	0	139,100
[小諸市]1市]松くい虫被害防除特殊伐採補助金	29,190	0	0	0	29,190
[東江市]救急隊専用回線補助事業	100,000,000	0	100,000,000	0	0
[舞鶴市]選沢と集田、分担と連携推進事業費補助金	500,000	0	0	0	500,000
[北播磨市]地域包括ケアシステム推進事業補助金	3,764,200	0	0	0	3,764,200
[鳥取市]1市]重症障がい児者支援事業補助金	678,000	0	0	0	678,000
[鳥取市]看護職員実習指導者養成支援事業補助金	7,404,000	0	0	0	7,404,000
[倉敷市]1市]重症心身障害児者レスパイトサービス拡大促進事業補助金	3,008,000	0	1,950,000	0	1,058,000
[東広島市]災害派遣医療チーム設備整備事業補助金	47,000	0	0	0	47,000
[都城市]広域定住自立圏構想協議会未来の医療従事者育成事業費補助金	7,330,432,592	0	4,109,299,881	0	3,221,132,711
計					

14. 役員及び職員給与の明細

区分	報酬又は給与		支給人員	退職手当	
	支給額	支給人員		支給額	支給人員
役員	(5,280,000)	(3)	(0)	(0)	(0)
	89,143,689	5	14,410,951	2	
職員	(34,946,344,362)	(13,857)	(0)	(0)	(0)
	377,412,446,230	59,558	19,663,321,003	5,382	
合計	(34,951,624,362)	(13,860)	(0)	(0)	(0)
	377,501,589,919	59,563	19,677,731,954	5,384	

(注) 1. 役員に対する報酬等の支給基準は、独立行政法人国立病院機構役員報酬規程及び独立行政法人国立病院機構役員退職手当規程によりおきます。
 2. 職員に対する給与等の支給基準は、独立行政法人国立病院機構職員給与規程、独立行政法人国立病院機構院長給与規程、独立行政法人国立病院機構非常勤職員給与規程、独立行政法人国立病院機構非常勤医師及び歯科医師給与規程、独立行政法人国立病院機構期間医師の給与等に関する規程、独立行政法人国立病院機構治療コーディネーターの給与等に関する規程、独立行政法人国立病院機構養介助職(Ⅱ)の給与等に関する規程、独立行政法人国立病院機構休業代替職員の給与等に関する規程、独立行政法人国立病院機構本部職員給与規程、独立行政法人国立病院機構本部非常勤特定専門職員給与規程及び独立行政法人国立病院機構職員退職手当規程によりおきます。

3. 支給人員数は、年間平均支給人員数を記載しております。

4. 非常勤の役員及び職員並びに期間職員は、外数として()で記載しております。

5. 中期計画においては、法定福利費等をまとめて予算上の人件費としておりますが、上記明細には法定福利費等は含まれておりません。

15. 科学研究費補助金の明細

種目	当期受入	件数	摘要
文部科学省科学研究費補助金	7,821,000 (27,190,000)	44	
日本学術振興会学術研究助成基金助成金	57,394,000 (194,270,000)	210	
科学技術振興機構科学研究費	3,300,000 (19,690,000)	2	
厚生労働科学研究費補助金	100,455,000 (364,061,000)	134	
合計	168,970,000 (605,211,000)	390	

(注) 直接経費相当額については、外数として()で記載しております。

16. 開示すべきセグメント情報

	診療事業	教育研修事業	臨床研究事業	計	法人共通	合計
事業収益						
医業収益	925,472,259,659	—	—	925,472,259,659	—	925,472,259,659
看護師等養成所収益	—	4,246,072,952	—	4,246,072,952	—	4,246,072,952
研修収益	—	285,288,133	—	285,288,133	—	285,288,133
研究収益	—	—	8,321,545,284	8,321,545,284	—	8,321,545,284
運営費交付金収益	56,930,618	153,706,830	3,117,263,607	3,327,901,055	10,218,638,284	13,546,539,339
補助金等収益	4,405,320,943	643,330,282	258,035,083	5,306,686,308	155,523,758	5,462,210,066
寄附金収益	195,291,280	453,767	408,742,506	604,487,553	10,000	604,497,553
資産見返物品受贈額戻入	1,073,035	0	0	1,073,035	0	1,073,035
財務収益	0	0	0	0	1,053,472	1,053,472
その他	5,149,697,001	36,696,017	84,607,507	5,271,000,525	3,446,048,289	8,717,048,814
事業収益計	935,280,572,536	5,365,547,981	12,190,193,987	952,836,314,504	13,821,273,803	966,657,588,307
事業費用						
業務費	930,151,753,167	8,178,342,657	13,981,413,995	952,311,509,819	—	952,311,509,819
一般管理費	—	—	—	—	13,003,934,893	13,003,934,893
財務費用	0	0	0	0	4,907,571,502	4,907,571,502
その他	—	—	—	—	3,277,912,404	3,277,912,404
事業費用計	930,151,753,167	8,178,342,657	13,981,413,995	952,311,509,819	21,189,418,799	973,500,928,618
事業損益(△損失)	5,128,819,369	△ 2,812,794,676	△ 1,791,220,008	524,804,685	△ 7,368,144,996	△ 6,843,340,311

(単位:円)

	診療事業	教育研修事業	臨床研究事業	計	法人共通	合計
II 臨時損益等						
臨時利益	295,558,548	0	0	295,558,548	0	295,558,548
臨時損失	8,799,982,187	650,545,273	16,849,869	9,467,377,329	126,590,435	9,593,967,764
臨時損益(△損失)	△ 8,504,423,639	△ 650,545,273	△ 16,849,869	△ 9,171,818,781	△ 126,590,435	△ 9,298,409,216
当期純損益(△損失)	△ 3,375,604,270	△ 3,463,339,949	△ 1,808,069,877	△ 8,647,014,096	△ 7,494,735,431	△ 16,141,749,527
当期総損益(△損失)	△ 3,375,604,270	△ 3,463,339,949	△ 1,808,069,877	△ 8,647,014,096	△ 7,494,735,431	△ 16,141,749,527
III 行政サービス実施コスト 業務費用						
損益計算上の費用	938,951,735,354	8,828,887,930	13,998,263,864	961,778,887,148	21,316,009,234	983,094,896,382
(控除)自己収入	△ 931,112,806,488	△ 4,568,510,869	△ 8,645,925,297	△ 944,327,242,654	△ 3,447,111,761	△ 947,774,354,415
業務費用の合計	7,838,928,866	4,260,377,061	5,352,338,567	17,451,644,494	17,868,897,473	35,320,541,967
損益外減価償却相当額	464,058,016	0	0	464,058,016	0	464,058,016
損益外除売却差額相当額	△ 431,473,777	0	0	△ 431,473,777	0	△ 431,473,777
機会費用						
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	7,295,135	0	0	7,295,135	0	7,295,135
政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用	0	0	0	0	279,273,522	279,273,522
行政サービス実施コスト	7,878,808,240	4,260,377,061	5,352,338,567	17,491,523,868	18,148,170,995	35,639,694,863
IV 総資産						
流動資産						
現金及び預金	0	0	0	0	110,319,103,156	110,319,103,156
医薬未収金	156,424,824,715	0	0	156,424,824,715	0	156,424,824,715
その他	9,775,861,139	341,197,991	344,860,129	10,461,919,259	10,867,034,170	21,328,953,429
流動資産計	166,200,685,854	341,197,991	344,860,129	166,886,743,974	121,186,137,326	288,072,881,300
固定資産						
建物	416,043,394,447	21,282,037,468	2,503,281,831	439,828,713,746	852,049,838	440,680,763,584
構築物	15,696,005,483	339,518,600	19,299,744	16,054,823,827	2,443,582	16,057,267,409
医療器械備品	65,538,532,702	0	0	65,538,532,702	1	65,538,532,703
その他器械備品	17,233,830,859	224,528,317	1,634,722,992	19,093,082,168	184,891,533	19,277,973,701
土地	457,912,592,556	5,430,543,150	55,870,933	463,399,006,639	5,106,055,039	468,505,061,678
建設仮勘定	6,649,667,251	478,200	9,408,960	6,659,554,411	36,955,194	6,696,509,605
ソフトウェア	17,232,712,475	16,160,491	250,892,545	17,499,765,511	967,680	17,500,733,191
その他	763,412,517	8,630,656	2,263,240	774,306,413	2,656,706,734	3,431,013,147
固定資産計	997,070,148,290	27,301,896,882	4,475,740,245	1,028,847,785,417	8,840,069,601	1,037,687,855,018
総資産	1,163,270,834,144	27,643,094,873	4,820,600,374	1,195,734,529,391	130,026,206,927	1,325,760,736,318

(注)1. セグメントの区分については、中長期目標等における一定の事業等のまとまりごとの区分に基づくセグメント情報を開示しております。

2. 事業の内容

「診療事業」：安心で安全な質の高い医療や政策医療を提供するための事業

「教育研修事業」：質の高い医療従事者(医師、看護師等)を養成・育成するための事業

「臨床研究事業」：医療の質の向上に貢献するための研究、治験等の事業

3. 事業収益のうち法人共通は、各セグメントに配賦不能な収益であり、その主なものは、国勤務期間分の退職給付債務等に係る運営費交付金収益(10,218,638,284円)です。

4. 事業費用のうち法人共通は、各セグメントに配賦不能な費用であり、その主なものは、管理部門に係る費用(13,003,934,893円)です。

5. 総資産のうち法人共通は、各セグメントに配賦しなかった資産であり、その主なものは、現金及び預金(110,319,103,156円)、管理部門が管理する土地(5,106,055,039円)、管理部門に係る建物(852,049,838円)です。

17. 関連公益法人の状況
関連公益法人の概要

名称	業務の概要	役員の名義(平成29年3月31日現在)
一般社団法人 国立医療学会	<ul style="list-style-type: none"> ・学会、研究会、講習会等の開催 ・機関誌等の発行 ・国民医療の発展向上に関する調査、研究及びその他の業務 ・関係諸団体との連携及び交流事業 ・その他当法人の目的を達成するために必要な事業 	<p>理事長 楠岡 英雄 池田 千絵子 理事 春日 雅人 理事 武田 純三 理事 田所 慶一 理事 直江 知樹 理事 中井 國雄 理事 中釜 斉 理事 中川 義信 理事 西村 元伸 理事 久部 優 理事 村上 健 理事 村中 光 監事 大田 健 監事 横田 章</p>
		<p>国立病院機構理事長 国立病院機構医療担当理事 国立国際医療研究センター理事長 国立病院機構東京医療センター院長 国立病院機構仙台医療センター院長 国立病院機構名古屋医療センター院長 国立病院機構南和歌山医療センター院長 国立がん研究センター理事長 国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター院長 国立病院機構千葉東病院副院長 国立病院機構東京医療センター副院長 国立病院機構神原病院院長 国立病院機構九州医療センター院長 国立病院機構東京病院院長 国立病院機構東京医療センター事務部長</p>

関連公益法人との取引の関連図



当法人は、会費及び書籍代を支払っている。

関連公益法人の財務状況

法人名	資産	負債	正味財産	当期収入合計額	当期支出合計額	当期収支差額	摘要
一般社団法人 国立医療学会	7,212,955	3,608,666	3,604,289	-	-	-	注

(単位:円)

(注) 関連公益法人において収支計算書を作成していないため、当期収入合計額、当期支出合計額及び当期収支差額は記載しておりません。

関連公益法人の正味財産について

収益	一般正味財産増減の部				指定正味財産増減の部				正味財産 期末残高 K=E+J	
	収益の内訳		費用		収益の内訳		費用			
	受取補助金等 A	その他の収益 B	事業費 C	その他の費用 D	収益の内訳 受取補助金等 F	その他の収益 G	指定正味財産 期首残高 H	当期増減額 I		
13,989,095	13,812,803	13,482,495	51,554	278,754	176,292	△2,112,906	△1,936,614	0	0	△1,936,614

(単位:円)

関連公益法人との取引の状況

法人名	基本財産に対する出えん	引出、寄附金	関連公益法人に対する債権債務の明細		関連公益法人の事業収入	うち当法人からの収入 (うち、上段:競争契約等 下段:随意契約)	割合
			科目	金額			
一般社団法人 国立医療学会	0	2,010,600	未払金	831,700	13,989,095	7,197,668 (0)	51.5% (0.0%)
						(7,197,668)	(51.5%)

(単位:円)

(注) 1. 上記法人に対する債務保証はありません。

2. 上記「競争契約等」とは、競争契約及び企画競争・公募のことであり、「随意契約」とは競争性のない随意契約のことを示しています。

18. 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細

該当事項はありません。

決算報告書

決 算 報 告 書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	診療事業			備 考
	予 算 額	決 算 額	差 額	
収入				
運営費交付金	0	0	0	
長期借入金等	-	-	-	
業務収入	923,569,776,117	941,567,196,411	17,997,420,294	
その他収入	0	2,423,397,214	2,423,397,214	計画時では法人共通に計上していたことによる
計	923,569,776,117	943,990,593,625	20,420,817,508	
支出				
業務経費				
診療業務経費	839,968,971,000	844,272,693,621	4,303,722,621	
教育研修業務経費	-	-	-	
臨床研究業務経費	-	-	-	
その他の経費	0	0	0	
施設整備費	0	69,763,208,131	69,763,208,131	計画時では法人共通に計上していたことによる
借入金償還	-	-	-	
支払利息	-	-	-	
その他支出	0	3,072,870,321	3,072,870,321	計画時では法人共通に計上していたことによる
計	839,968,971,000	917,108,772,073	77,139,801,073	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決 算 報 告 書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	教育研修事業			備 考
	予 算 額	決 算 額	差 額	
収入				
運営費交付金	148,144,000	153,706,830	5,562,830	
長期借入金等	-	-	-	
業務収入	4,508,569,000	5,182,663,299	674,094,299	補助金等収益が計画より増加したこと等による
その他収入	0	0	0	
計	4,656,713,000	5,336,370,129	679,657,129	
支出				
業務経費				
診療業務経費	-	-	-	
教育研修業務経費	7,023,039,000	6,677,566,866	△ 345,472,134	
臨床研究業務経費	-	-	-	
その他の経費	0	0	0	
施設整備費	0	614,851,128	614,851,128	計画時では法人共通に計上していたことによる
借入金償還	-	-	-	
支払利息	-	-	-	
その他支出	0	17,438,100	17,438,100	計画時では法人共通に計上していたことによる
計	7,023,039,000	7,309,856,094	286,817,094	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決 算 報 告 書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	臨床研究事業			備 考
	予 算 額	決 算 額	差 額	
収入				
運営費交付金	3,028,161,000	3,050,542,000	22,381,000	
長期借入金等	-	-	-	
業務収入	7,122,762,000	9,626,927,771	2,504,165,771	研究収益が計画より増加したこと等による
その他収入	0	0	0	
計	10,150,923,000	12,677,469,771	2,526,546,771	
支出				
業務経費				
診療業務経費	-	-	-	
教育研修業務経費	-	-	-	
臨床研究業務経費	13,259,435,000	13,679,286,037	419,851,037	
その他の経費	0	0	0	
施設整備費	0	784,596,253	784,596,253	計画時では法人共通に計上していたことによる
借入金償還	-	-	-	
支払利息	-	-	-	
その他支出	0	4,224,240	4,224,240	計画時では法人共通に計上していたことによる
計	13,259,435,000	14,468,106,530	1,208,671,530	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決 算 報 告 書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	共通			備 考
	予 算 額	決 算 額	差 額	
収入				
運営費交付金	11,244,679,000	11,216,735,170	△ 27,943,830	
長期借入金等	79,800,000,000	79,800,000,000	0	
業務収入	14,318,231,000	2,949,549,666	△ 11,368,681,334	計画時ではセグメント間における収入を計上していたことによる
その他収入	6,353,321,000	11,297,810,987	4,944,489,987	資産運用の戻入を行ったことによる
計	111,716,231,000	105,264,095,823	△ 6,452,135,177	
支出				
業務経費				
診療業務経費	-	-	-	
教育研修業務経費	-	-	-	
臨床研究業務経費	-	-	-	
その他の経費	26,124,323,000	39,119,285,030	12,994,962,030	経費が計画より増加したこと等による
施設整備費	85,078,337,000	217,989,913	△ 84,860,347,087	計画時では法人共通に計上していたこと、整備費の年度内の支払額が計画より減少したことによる
借入金償還	44,457,294,000	43,384,570,546	△ 1,072,723,454	
支払利息	5,019,022,000	4,703,052,860	△ 315,969,140	
その他支出	6,730,724,000	10,545,109,784	3,814,385,784	資産運用の預入を行ったことによる
計	167,409,700,000	97,970,008,133	△ 69,439,691,867	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

決 算 報 告 書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	合計			備 考
	予 算 額	決 算 額	差 額	
収入				
運営費交付金	14,420,984,000	14,420,984,000	0	
長期借入金等	79,800,000,000	79,800,000,000	0	
業務収入	949,519,338,117	959,326,337,147	9,806,999,030	
その他収入	6,353,321,000	13,721,208,201	7,367,887,201	資産運用の戻入を行ったことによる
計	1,050,093,643,117	1,067,268,529,348	17,174,886,231	
支出				
業務経費				
診療業務経費	839,968,971,000	844,272,693,621	4,303,722,621	
教育研修業務経費	7,023,039,000	6,677,566,866	△ 345,472,134	
臨床研究業務経費	13,259,435,000	13,679,286,037	419,851,037	
その他の経費	26,124,323,000	39,119,285,030	12,994,962,030	経費が計画より増加したこと等による
施設整備費	85,078,337,000	71,380,645,425	△ 13,697,691,575	整備費の年度内の支払額が計画より減少したことによる
借入金償還	44,457,294,000	43,384,570,546	△ 1,072,723,454	
支払利息	5,019,022,000	4,703,052,860	△ 315,969,140	
その他支出	6,730,724,000	13,639,642,445	6,908,918,445	資産運用の預入を行ったことによる
計	1,027,661,145,000	1,036,856,742,830	9,195,597,830	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

監事の意見

監 査 報 告

独立行政法人国立病院機構

理事長 楠 岡 英 雄 殿

独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第 19 条第 4 項及び同法第 38 条第 2 項の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構（以下「法人」という。）の第 13 期事業年度（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日）の業務、事業報告書、財務諸表（貸借対照表、損益計算書、利益の処分に関する書類（案）、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書及びこれらの附属明細書）及び決算報告書について監査を実施し、その方法及び結果を取りまとめたので、以下のとおり報告する。

I 監査の方法及びその内容

各監事は、監査計画に基づき、理事長、理事、内部監査部門、業績評価部門その他職員（以下「役員等」という。）と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、役員会その他重要な会議に出席し、役員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、本部及び施設において業務、財産の状況及び主務大臣に提出する書類を調査した。また、役員（監事を除く。以下「役員」という。）の職務の執行が通則法、個別法又は他の法令に適合することを確保するための体制その他法人の業務の適正を確保するための体制（以下「内部統制システム」という。）について、役員等からその整備及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求めた。

さらに、当該事業年度に係る財務諸表及び決算報告書（以下「財務諸表等」という。）について検証するに当たっては、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適切な監査を実施しているかを監視及び検討するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めた。また、会計監査人から会社計算規則第 131 条で定める「会計監査人の職務の遂行に関する事項」と同様の事項の通知を受け、必要に応じて説明を求めた。

以上の方法に基づき、法人の当該事業年度に係る業務、事業報告書及び財務諸表等の監査を行った。

II 監査の結果

- 1 法人の業務は、法令等に従い適正に実施され、また、中期目標の着実な達成に向け効果的かつ効率的に実施されているものと認める。
- 2 内部統制システムに関する業務方法書の記載内容は相当であると認める。また、内部統制システムに関する法人の長の職務の執行について、指摘すべき重大な事項は認められない。
- 3 役員等の職務の執行に関する不正の行為又は法令等に違反する重大な事実とは認められない。
- 4 財務諸表及び決算報告書に関する会計監査人新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認める。
- 5 事業報告書は、法令に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。

III 独立行政法人改革等に関する基本的な方針等過去の閣議決定において定められた監査事項について違反する重大な事実等は認められない。


平成 29 年 6 月 29 日

独立行政法人国立病院機構

監 事

伊勢 若祐 

監 事

石尾 肇 

会計監査人の意見

独立監査人の監査報告書

平成29年6月21日

独立行政法人 国立病院機構

理事長 楠岡英雄 殿

新日本有限責任監査法人


指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

岡村俊克 

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

近藤浩明 

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

田中友康 

<財務諸表監査>

当監査法人は、独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第39条の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第13期事業年度の損失の処理に関する書類（案）を除く財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書（関連公益法人等の計算書類及び事業報告書等に基づき記載している部分を除く。以下同じ。）について監査を行った。

財務諸表に対する独立行政法人の長の責任

独立行政法人の長の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して財務諸表（損失の処理に関する書類（案）を除く。以下同じ。）を作成し適正に表示することにある。これには、不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽の表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために独立行政法人の長が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

会計監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の監査の基準に準拠して監査を行った。この監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。監査は、独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為が財務諸表に重要な虚偽の表示をもたらす要因となる場合があることに十分留意して計画される。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正及び誤謬並びに違法行為による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、独立行政法人の長が採用した会計方針及びその適用方法並びに独立行政法人の長によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。この基礎には、当監査法人が監査を実施した範囲においては、財務諸表に重要な虚偽の表示をもたらす独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の存在は認められなかったとの事実を含んでいる。なお、当監査法人が実施した監査は、財務諸表の重要な虚偽の表示の要因とならない独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の有無について意見を述べるものではない。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して、独立行政法人国立病院機構の財政状態、運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

＜損失の処理に関する書類（案）、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書に対する報告＞

当監査法人は、通則法第39条の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第13期事業年度の損失の処理に関する書類（案）、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書について監査を行った。なお、事業報告書について監査の対象とした会計に関する部分は、事業報告書に記載されている事項のうち会計帳簿の記録に基づく記載部分である。

損失の処理に関する書類（案）、事業報告書及び決算報告書に対する独立行政法人の長の責任

独立行政法人の長の責任は、法令に適合した損失の処理に関する書類（案）を作成すること、財政状態及び運営状況を正しく示す事業報告書を作成すること並びに予算の区分に従って、一定の事業等のまとめりと共に決算の状況を正しく示す決算報告書を作成することにある。

会計監査人の責任

当監査法人の責任は、損失の処理に関する書類（案）が法令に適合して作成されているか、事業報告書（会計に関する部分に限る。）が財政状態及び運営状況を正しく示しているか並びに決算報告書が予算の区分に従って、一定の事業等のまとめりと共に決算の状況を正しく示しているかについて、独立の立場から報告することにある。

損失の処理に関する書類（案）、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書に対する報告

当監査法人の報告は次のとおりである。

- (1) 損失の処理に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認める。
- (2) 事業報告書（会計に関する部分に限る。）は、独立行政法人国立病院機構の財政状態及び運営状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 決算報告書は、独立行政法人の長による予算の区分に従って、一定の事業等のまとめりと共に決算の状況を正しく示しているものと認める。

利害関係

独立行政法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

